



令和5年度当初予算(案)

予算(案)の概要

福井県勝山市



令和5年度一般会計当初予算（案）

119億円【前年度比（△）2千8百万円減（△0.2%減）】

（金額等は四捨五入等の関係で合計等一部不整合、以下同様）

新型コロナの感染拡大から4年目を迎える中、政府は新型コロナの感染症法上の位置付けを、5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針を決定し、行動制限やマスクを前提とした生活スタイルが大きく変わろうとしています。また、昨年8月4日に勝山市北部を襲った大雨により多くの河川が氾濫し、市道を始め河川、農地、農業施設及び林道等が甚大な被害を受けましたが、国の災害査定も全て終え、一日も早い復興を目指し、現在復旧工事を進めています。令和5年度は、アフターコロナ、災害からの復興を見据える大事な一年になると考えています。

勝山市においては、令和5年度に県立恐竜博物館リニューアルオープン、北陸新幹線金沢敦賀間開業、令和6年度にデスティネーションキャンペーン、令和7年度に平泉寺白山神社三十三年のお開帳、令和8年度にかつやま恐竜の森Park-PFI施設オープン、中部縦貫自動車道県内全線開通、県立大学恐竜学部（仮称）勝山キャンパス開校など大型プロジェクトが控えています。

令和5年度当初予算においては、物価高対策、防災対策の推進、こども政策の充実を最優先課題と位置付けた上で、この期を逃すことの無いよう「新たな勝山市の実現へ」多方面にわたり積極的な投資を行います。

特に物価高対策では、昨年来の電気料燃料調整費の高騰に加え、4月1日以降、北陸電力電気料金改定による家計圧迫が見込まれることから、総額約1億3千万円を「電気料高騰対策支援交付金」として実質負担増相当額全額を交付します。

また、防災対策の推進では、防災の専門知識・経験等を有する「地域防災マネージャー」を配置、緊急時一斉メールサービスを機能強化、地域の防災活動等の指導的な役割を担う人材を養成し、地域防災力の向上を図るため、防災士資格取得に必要となる経費を全額助成します。さらに、昨年8月の大雨災害の教訓から、地域の実情に応じ実施する林道等の減災対策・維持管理等を支援するため、林道愛護組合等に対し「豊かな森づくり推進事業交付金」総額1千万円を交付します。

こども政策では、4月1日より福祉事務所の子育て支援部門を教育委員会に移管し、新たに「こども課」を新設し専門監を配置、就学前児童の小学校入学、児童センターと小学校を一体的に運営することで家庭と学校を一元的にサポートします。

このような考え方の下、第6次勝山市総合計画に掲げた政策目標の2つの「創る」（地域の未来を創る、まちの楽しさを創る）、4つの「守る」（子育て・教育、福祉・健康、産業・経済、防災減災・生活環境）の6つの柱に沿った、まちづくりを推進します。

2 つ の 「 創 る 」

地域の未来を創る

- ・地域の特性を活かし、住民が主体となった地域振興や地域コミュニティ活動を活性化するため、令和5年度は全10地区に「にこにこ地域づくり事業交付金」を交付し、地域の取り組みを支援する。
【事業費 1,443 万円】
- ・まちづくり会館を各地域における福祉・防災の拠点とするため、まちづくり会館の全職員が福祉職員キャリアパス対応生涯研修及び防災士養成研修を受講する。また、全まちづくり会館の看板の掛け替えを行う。
【事業費 197 万円】
- ・有形文化財・民俗文化財等の悉皆調査を行い、文化財把握に努める。令和5年度は、勝山を支えた近代産業であり、今日も重要な地域の産業である繊維産業を中心に調査を行う。
【事業費 44 万円】

まちの楽しさを創る

- ・市内で開催される式典、イベント及び会議等に、勝山市出身の音楽家を招き、市民の方々が音楽にふれあう場を創出する。
【事業費 117 万円】
- ・すべての人が性の多様性について、正しく認識し理解を深めることを目的に講演会を開催し、性的マイノリティの方々が安心して暮らせる社会づくりを目指す。
【事業費 91 万円】
- ・いつでも誰でも「やってみたい」にチャレンジ(わくわくクラウドファンディング応援、ちょいチャレ応援)できる環境を整え、やる気がある人材の活躍を後押しする。令和5年度より、勝山市の特産品を使った商品開発をわくわくクラウドファンディング応援の対象に追加する。
【事業費 800 万円】
- ・在留外国人が増加してきていることを受け、各種相談窓口の強化、市民との交流の場の創出及び認定こども園や小学校1、2年生を対象とした英語教育の充実を図るため、国際交流員を増員し、多文化共生社会の実現を目指す。
【事業費 849 万円】
- ・自治総合センターの助成を受け「宝くじ文化講演会 荻野目洋子コンサート」を実施する。
【事業費 143 万円】

4 つ の 「 守 る 」

子育て・教育を守る

- ・保育環境の向上等を図るため、老朽化した備品やフローリング貼・カーペット敷等の更新や改修等を実施する認定こども園等に対し助成する。
【事業費 824 万円】
- ・上野こども園が実施する園舎の改築等に対し助成する。
【事業費 2億 1,253 万円】
- ・経年により劣化した鹿谷児童センターの外壁塗装工事を実施する。
【事業費 779 万円】
- ・安心して出産・子育てができるよう伴走型支援として、面談・相談を行うとともに出産応援金として5万円、子育て応援金として5万円を支給する。
【事業費 1,411 万円】
- ・不妊治療費の自己負担を全額助成し完全無料化(年齢、回数等制限なし)とする。
【事業費 500 万円】
- ・小学校のプール授業を天候に左右されず高度な指導を受けられる市営温水プールで実施する。また、夏休み期間中のプール開放についても市営温水プールで行う。
【事業費 1,163 万円】
- ・給食調理員の人手不足及び物価高騰による小学校給食費保護者負担の増額を抑制するため、炊飯業務等を民間事業者に委託する。
【事業費 1,063 万円】
- ・三室小学校屋内運動場の長寿命化を図るため、屋根、外壁、LED 化工事及び鹿谷小学校屋内運動場 LED 化工事等を実施する。
【事業費 4,883 万円】
- ・教員の業務負担の軽減を図るため、休日における部活動の一部を地域の活動に移行する。
【事業費 192 万円】
- ・物価高騰による中学校給食費の増額分を全額公費で負担する。
【事業費 2,902 万円】
- ・令和9年度の新中学校開校に向け、校舎等の基本設計及び実施設計等を行う。
【事業費 6,431 万円、債務負担行為 4,166 万円(R6)】

福祉・健康を守る

- ・80歳までに約3人に1人が患うといわれている帯状疱疹について、予防接種費用の一部を助成し、発症や重症化を予防する。
【事業費 250 万円】
- ・B&G海洋センターの長寿命化を図るため、屋根塗装、LED 化工事を実施する。また、B&Gインストラクターを新たに養成し運営体制の強化を図る。
【事業費 890 万円】
- ・市営温水プールにおいて、小学校のプール授業を受け入れるため更衣室、備品等を整備する。また、老朽化した温水ボイラー等の改修を行う。
【事業費 1,839 万円】
- ・勝山恐竜クロカンマラソンをジオアリーナから平泉寺町大矢谷を折り返しとするコースに変更し開催する。
【事業費 1,272 万円】
- ・9月16日からジオアリーナで開催される日本スポーツマスターズ 2023 バドミントン大会に来勝する選手、役員等を左義長太鼓やふるまい等で歓迎する。
【事業費 58 万円】
- ・後期高齢者医療被保険者の人間ドックに脳ドックを追加し、疾病の早期発見を図る。
【事業費 40 万円】
- ・国民健康保険被保険者の特定健診、一般健診の個人負担金を無料化し受診率の向上を図る。
【事業費 2,036 万円】
- ・介護保険被保険者を対象として、ICT を活用した健康運動指導士による運動の遠隔指導を実施する。令和5年度は ZOOM 端末を用いて複数のまちづくり会館で同時に実施する。
【事業費 203 万円】

産業・経済を守る

- ・法恩寺山エリアで行われる秋のイベントに合わせて花火大会を実施することで、エリアへの集客とにぎわいの創出を図る。**【事業費 326 万円】**
- ・かつやま恐竜の森において、子ども向けのイベントを開催し賑わいを創出する。また、県イベントと市内観光施設を結ぶスタンプラリーの実施、観光バスツアー支援、鯉のぼり掲揚を行う。**【事業費 1,820 万円】**
- ・TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジを開催することにより、モータースポーツを通じた地域住民とラリー関係者との交流、法恩寺山周辺のにぎわいづくり及び市内観光を含めた情報発信を図る。**【事業費 200 万円】**
- ・ふるさと納税を推進するため、中間事業者とともにデータ分析や新たな返礼品の掘り起こし等を積極的に行い、寄附額1億5千万円を目指す。**【事業費 8,474 万円】**
- ・令和4年度に実施し好評であった広報クーポン応援キャンペーンを拡充し実施する。**【事業費 1,430 万円】**
- ・かつやま恐竜の森での Park-PFI や福井県立大学恐竜学部(仮称)の開校に対応するため、新たな避難経路等の整備を引き続き進める。**【事業費 9,524 万円】**
- ・中山間地域においては、畦畔の草刈りが農業者の大きな負担となっていることから、草刈りにかかる労力と経費を削減するため、防草シート購入費の一部を助成する。**【事業費 50 万円】**
- ・儲かる農業体験のモデルを構築することにより農業者の所得向上を図る。**※U35提案事業【事業費 47 万円】**
- ・大雨災害時の浸水被害リスクを低減させるため、水田の雨水貯留機能を高める田んぼダムを整備する。**【事業費 356 万円】**
- ・県営事業(農村地域防災減災事業)において、新たに妙金島水路の改修工事に着手する。**【事業費 300 万円】**
- ・森林の有する水源涵養機能が持続的に発揮されるよう、地域の実情に応じ実施する林道等の減災対策・維持管理等を支援するため、林道愛護組合等に対し「豊かな森づくり推進事業交付金」を交付する。**【事業費 1,000 万円】**
- ・「九頭竜川勝山あゆ」の魅力と地域ブランドであることを市民に周知知名度を高めるため、市内の全小中学校学校給食に「九頭竜川勝山あゆ」を提供する。**【事業費 126 万円】**
- ・勝山淡水漁業生産組合で養殖している清流サーモン(仮称)を勝山市の新規特産品とすることにより、内水面漁業の推進と地域経済の活性化を図る。**【事業費 48 万円】**

防災減災・生活環境を守る

- ・生活路線バスの一部路線(北郷・野向方面)において、日中フルデマンドの試験運行を実施する。**【事業費 1,953 万円】**
- ・防災の専門知識・経験等を有する「地域防災マネージャー」を配置する。**【事業費 478 万円】**
- ・緊急時一斉メール配信システムについて、市内在住外国人向けに6か国語に自動翻訳して配信、Yahoo!防災アプリをインストールしているスマホにPUSH式で配信及び事前に登録された電話番号にSMSで配信できる機能を加える。**【事業費 144 万円】**
- ・防災活動等の指導的な役割を担う人材を養成し、地域防災力の向上を図るため、防災士資格取得に必要となる経費を全額助成する。**【事業費 24 万円】**
- ・市道7-46号線(昭和町2丁目地係)の消雪設備整備工事等を実施する。**【事業費 3,471 万円】**
- ・ビュークリーンおくえつの長寿命化を図るため、基幹的設備改良工事を実施する。**【事業費 417 万円】**
- ・昭和町3丁目地係において、急傾斜地崩壊対策工事を実施する。**【事業費 2,300 万円】**
- ・長山公園勝山高校側法面に、令和7年春の開花を目指しさくらを植樹する「長山公園さくらプロジェクト」を実施する。**【事業費 847 万円】**
- ・元祿線歩道整備工事及び中央公園再整備に向けた実施設計を実施する。**【事業費 6,633 万円】**
- ・かつやま恐竜の森において、Park-PFI 制度を活用し特定公園施設(屋根付き広場、インフラ施設)の整備等を行う。**【事業費 1 億 8,000 万円(3補前倒し)】**
- ・消防団員の処遇改善を図るため、出勤報酬を増額する。**【事業費 92 万円】**
- ・主要地方道篠尾勝山線歩道整備事業(鹿谷小学校前の通学路整備)を令和5年度に県が実施することとなったため、既設の第10分団庫の移転工事を実施する。**【事業費 671 万円】**
- ・かつやま恐竜の森での福井県立大学恐竜学部(仮称)の開校に対応するため、下水道管渠を布設する。**【事業費 4,535 万円】**
- ・保田工業団地(保田第2汚水中継ポンプ所)において増加している汚水流入量に対応するため圧送管を増設する。**【事業費 1,804 万円】**
- ・浄化センターガス貯留タンクの改修工事を実施する。**【事業費 2,120 万円(3補前倒し) 債務負担行為 1 億 7,804 万円(R5) 3 億 1,276 万円(R6)】**
- ・配水池から市内各医療機関(重要給水施設)までの配水管耐震化工事を令和4年度に引き続き実施する。**【事業費 1 億 5,699 万円】**

その他

- ・すべての職員が自席 PC で利用できる自治体専用のオンライン住宅地図を導入する。**※U35提案事業【事業費 14 万円】**
- ・監査事務の効率化及びペーパーレス化を推進する。**【事業費 37 万円】**
- ・燃料調整費高騰に加え、4月1日から電気料金が改定されることを受け、緊急経済対策として、全世帯を対象に1人あたり毎月500円(国の負担軽減後の市民負担増相当額)の「電気料高騰対策支援交付金」を交付する。**【事業費 1 億 3,329 万円】**
- ・自衛隊音楽隊コンサートを5年振りに開催する。**【事業費 40 万円】**

- ・知事及び県議会議員選挙をショッピングセンター等に4日間移動式期日前投票所を設置し執行する。**【事業費 746 万円】**
- ・市議会議員選挙をショッピングセンター等に4日間移動式期日前投票所を設置し執行する。第18期以降の定数は、2名減員の14名となる。**【事業費 2,637 万円】**
- ・マイナンバーカードの交付率100%を目指し、市内のショッピングセンターにおいて出張申請受付を行う。**【事業費 861 万円】**

1. 一般会計 予算規模

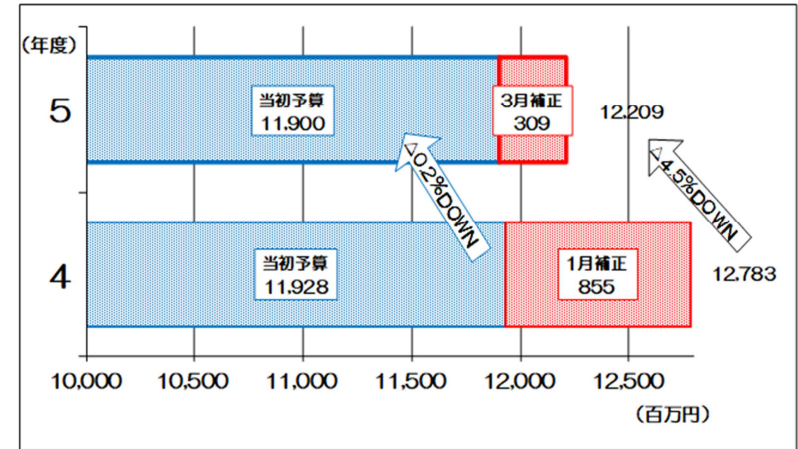


令和5年度当初予算額は、119億円となり、前年度比(Δ)0.2%の減額となった。

また、昨年10月に閣議決定された、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」関連事業については、令和4年度3月補正予算に前倒し計上しており、当初予算と合わせた総予算額は、122億9百万円と前年度比(Δ)4.5%の減額となった。

(単位：千円)

	令和5年度	令和4年度	増減	増減率
当初予算	11,900,000	11,928,000	Δ28,000	Δ0.2%



2. 一般会計 歳入予算の概要

ア. 市税

市民税のうち、個人は令和4年度決算がコロナ禍前の水準にまで回復する見込みであることから、3年振りに10億円超を見込み、法人においても増額を見込んだ。

固定資産税のうち、土地は今後も地価の下落傾向は続く見込み減額、家屋については新築家屋の増、勝山ニューホテル民間譲渡の影響から増額を見込んだ。

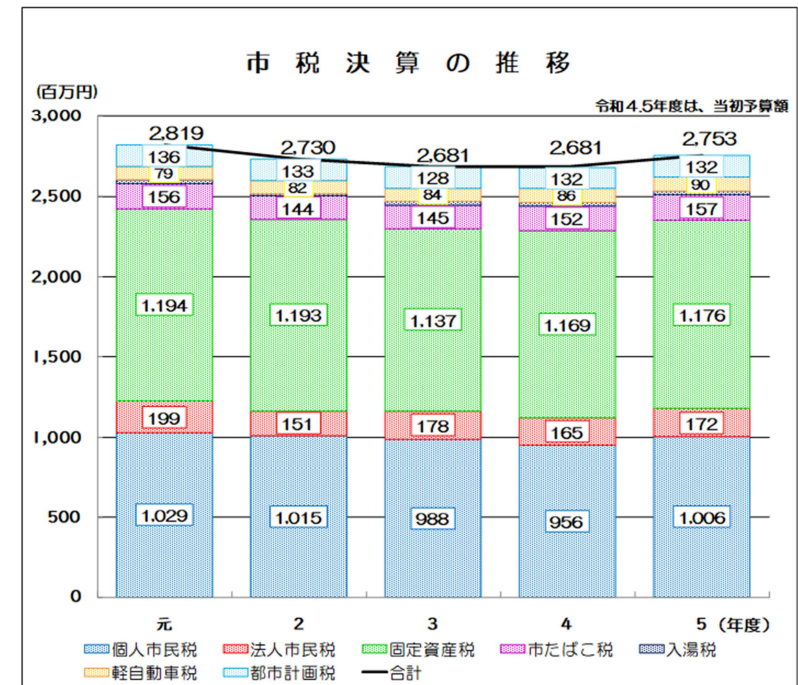
たばこ税は、令和3年10月からの増税の影響が令和4年度で通年化することから、令和4年度決算見込みと同額程度を見込んだ。

入湯税は、夏頃までは県立恐竜博物館休館の影響から減額を見込んだが、夏以降は回復する見込み。

軽自動車税のうち種別割は、平成28年度の新規登録分等の税率改正による影響が今後も暫く継続することから増額、環境性能割についても、令和4年度決算見込みから増額を見込んだ。

都市計画税は、固定資産税と同様に家屋の増額を見込んだ。

市税全体では、前年度比7千2百万円増額の27億5千3百万円を見込んだ。



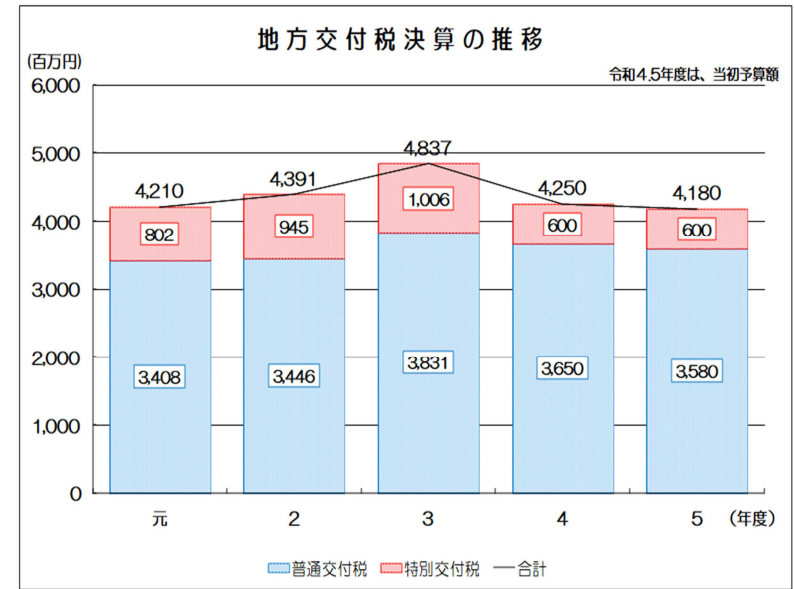
イ. 地方交付税

国の地方財政計画では、社会保障関係費の増加が見込まれる中、地方団体が、住民のニーズに的確に応えつつ、地域のデジタル化や脱炭素化の推進など様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方交付税等の一般財源総額について、令和4年度を上回る額を確保した。

普通交付税は、前年度と比べ基準財政需要額が高齢者保健福祉費の減などの影響から(△)7千9百万円の減額、基準財政収入額が市税の増などの影響から9千万円の増額となったが、国税及び地方税がコロナ禍前の水準以上に回復したことにより、令和5年度地方財政計画では、臨時財政対策債の発行が大幅に減額となったため、普通交付税は(△)7千万円の減額に留まった。

特別交付税は、前年度と同額の6億円を見込んだ。

地方交付税全体では、前年度比(△)7千万円減額の41億8千万円を見込んだ。



ウ. 主な一般財源合計(市税+地方交付税+臨時財政対策債+地方譲与税等)

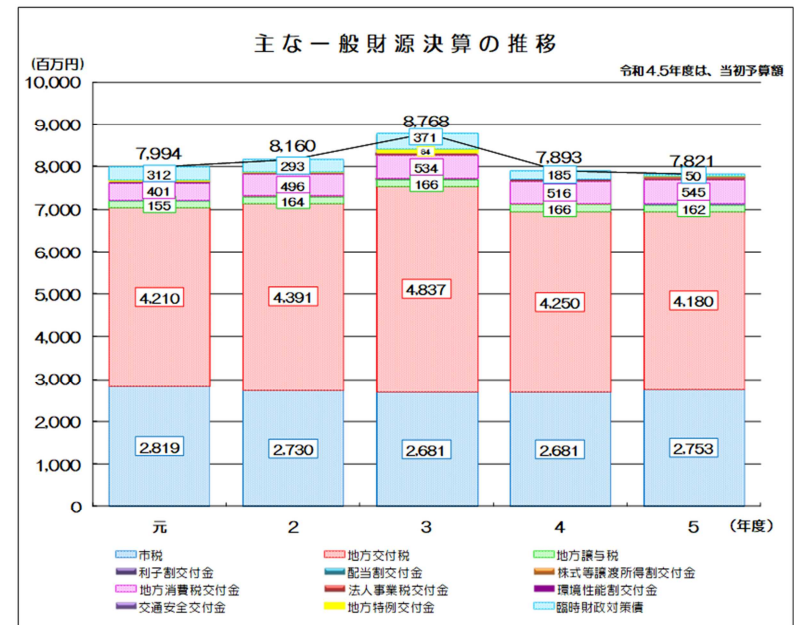
市税は、ア.の通り増額、地方交付税は、イ.の通り減額となった。

地方譲与税のうち、地方揮発油譲与税及び森林環境譲与税は前年度と同額、自動車重量譲与税は令和4年度決算見込みから減額を見込んだ。

また、このところ緩やかではあるが景気の持ち直しの動きが続いていることから、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金及び地方消費税交付金について増額を見込んだ。

臨時財政対策債は、令和4年度に引き続き地方財政計画の地方財源不足額が大幅に減額となり、国と地方での折半対象財源不足が発生せず、既往債の元利償還金分の発行も大幅に減額となったため、前年度比(△)1億3千5百万円減額の5千万円となった。

主な一般財源合計は、前年度比(△)7千2百万円減額の78億2千1百万円を見込んだ。



エ. 市債

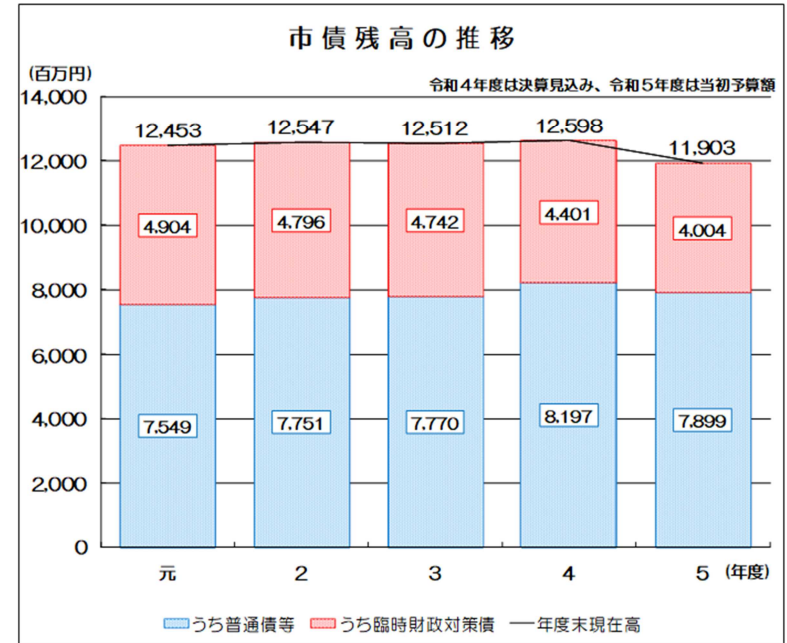
建設事業等に充てる普通債は、4億1千6百万円で、前年度比1億4千1百万円の増額となった。

国の補正により令和4年度3月補正に前倒しとなった、道路(補助)事業、公園(補助)事業、国県道改良事業負担金及び県営事業負担金に係る市債1億5千5百万円を合すると、5億7千1百万円となる。

臨時財政対策債は、令和4年度に引き続き地方財政計画の地方財源不足額が大幅に減額となり国と地方での折半対象財源不足が発生せず、既往債の元利償還金分の発行も大幅に減額となったため、前年度比(△)1億3千5百万円減額の5千万円となった。

新たに発行する市債額が、過去に借り入れた市債元金償還額を大幅に下回ったため、令和5年度末の市債残高は、令和4年度末残高(3月補正後見込み)と比べ、(△)6億9千5百万円減額の11億9千3百万円となる見込みである。

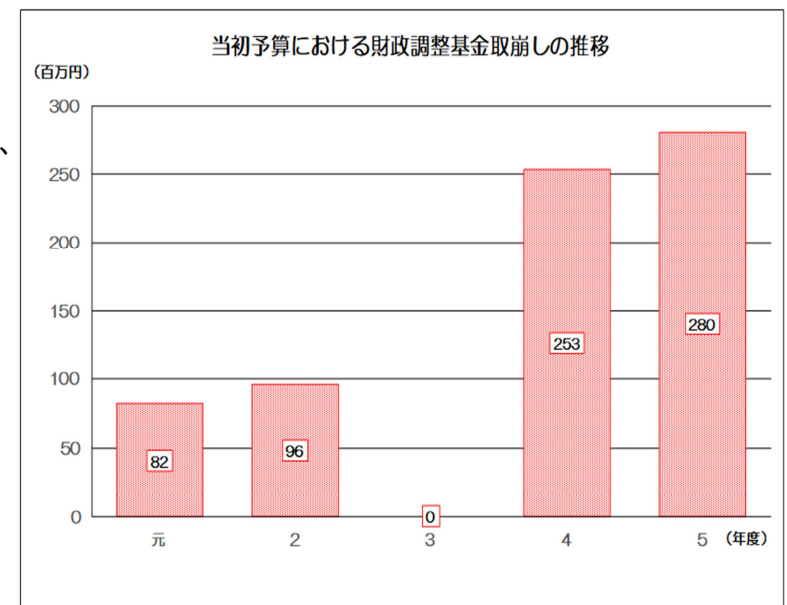
なお、過疎対策事業債については配分決定後、補正予算において財源組み替えを行うこととする。



オ. 財政調整基金繰入金

市税、地方交付税及び地方譲与税等の主な一般財源が、前年度比(△)7千2百万円減額となったことに加え、4月1日から電気料金が改定され公共施設等の電気料金が前年度比1億5百万円増額、電気料金値上げの影響を受ける市民負担を軽減するため実施する緊急経済対策「電気料高騰対策支援交付金」、林道・作業道の減災対策・維持管理等を支援するため林道愛護組合等に対し交付する「豊かな森づくり推進交付金」、認定こども園園舎改築工事への助成、元禄線歩道整備工事、新中学校校舎等の設計業務、Park-PFI、福井県立大学恐竜学部(仮称)開校に対応するため、かつやま恐竜の森整備などに積極的に投資を行った結果、前年度比2千7百万円増額の2億8千万円を取り崩すこととなった。

財政調整基金取り崩し後の令和5年度末残高は、14億4千6百万円となる。



3. 一般会計 歳出予算の概要（性質別）

カ. 義務的経費

人件費は、消防団員の出勤報酬について処遇改善を行ったが、一般職員の減員に加え、定年延長制度の導入に伴い、定年年齢が2年に1歳ずつ段階的に引き上げられる影響から退職手当組合負担金（特別分）が大幅に減額、市議会議員定数が9月以降（第18期）2名減員の14名となることから議員報酬等も減額となった。

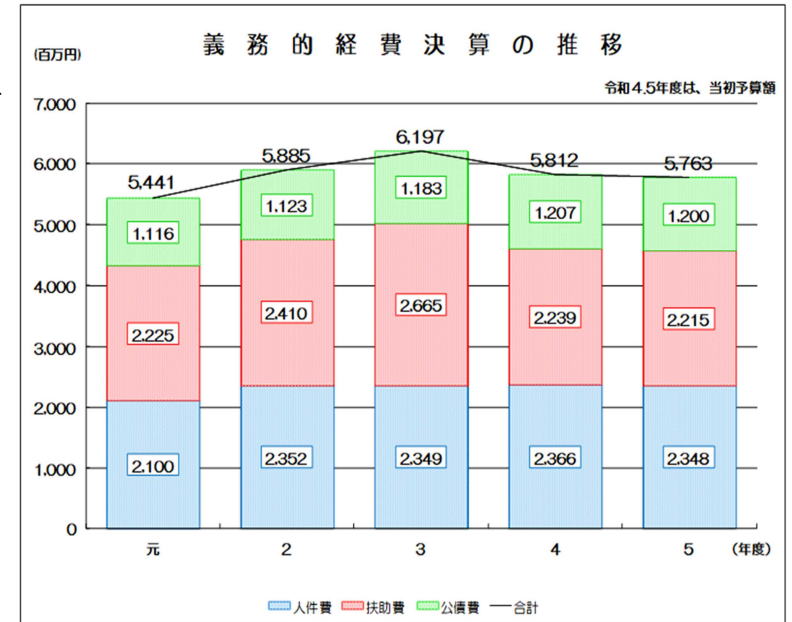
人件費全体では、前年度比（△）1千8百万円減額の23億4千8百万円となった。

職員数は、一般会計職員212人、全会計240人となり、前年度と比べ一般会計（△）8人減員、全会計でも同数の減員となった。※人数は再任用職員（一般会計6人）を除く。

会計年度任用職員数は、一般会計157人、全会計165人を配置した。

（※病休・産休代替、選挙事務などの短期雇用者の場合は、雇用時間数/1,827hでカウント）

※1,827hは、通常雇用の場合の年間総雇用時間



扶助費は、国の補正により交付することとなった出産・子育て応援交付金が増額となったが、少子化の影響から児童手当、保育園措置費などが減額、障害者総合支援法に基づく障害者福祉給付も減額となり、全体では、前年度比（△）2千4百万円減額の22億1千5百万円となった。

公債費は、平成24年度に実施した成器西・南小学校及び教育会館の耐震補強工事において借り入れた緊急防災・減債事業債の償還が終了することに加え、近年の低金利による借り入れにより利払いが軽減され、全体では、前年度比（△）7百万円減額の12億円となった。

義務的経費全体では、前年度比（△）4千9百万円減額の57億6千3百万円となった。歳出全体の構成比では、48.4%を占めている。

キ. 投資的経費（普通建設事業）

普通建設事業（補助）では、上野こども園が実施する園舎の改築工事などに対し助成を行う私立保育園等施設整備補助金、元禄線歩道整備工事及び中央公園再整備に向けた実施設計を実施する都市整備（補助）事業費、かつやま恐竜の森第1駐車場の舗装工事を実施する公園（補助）事業費、三室小学校屋内運動場の外壁予防改修事業を実施する小学校校舎整備事業費などが増額となり、全体でも、前年度比2億4千万円の増額となった。

普通建設事業（単独）は、令和9年度の新中学校開校に向け、校舎等の基本設計及び実施設計等を行う中学校再編施設整備事業費、かつやま恐竜の森への福井県立大学恐竜学部（仮称）の開校に対応するため新たな避難経路等を整備する長尾山総合公園（単独）事業、企業振興助成金、市道7-46号線（昭和町2丁目地係）の消雪設備整備工事等を実施する環境整備事業費、B&G 海洋センター及び市営温水プールの整備工事を実施する屋内体育施設管理運営費、長山公園勝山高校側法面に、令和9年春の開花を目指し桜を植樹する「長山公園桜プロジェクト」を実施する公園維持補修費などが増額となり、全体では、前年度比1億4千8百万円の増額となった。

県営事業負担金は、新たに妙金島地区において農村地域防災減災事業に着手するため増額となったが、勝山東部・南部土地改良地区において実施する中山間地域農業農村総合整備事業が国の補正により令和4年度3月補正に一部前倒しとなるため全体では減額となる。

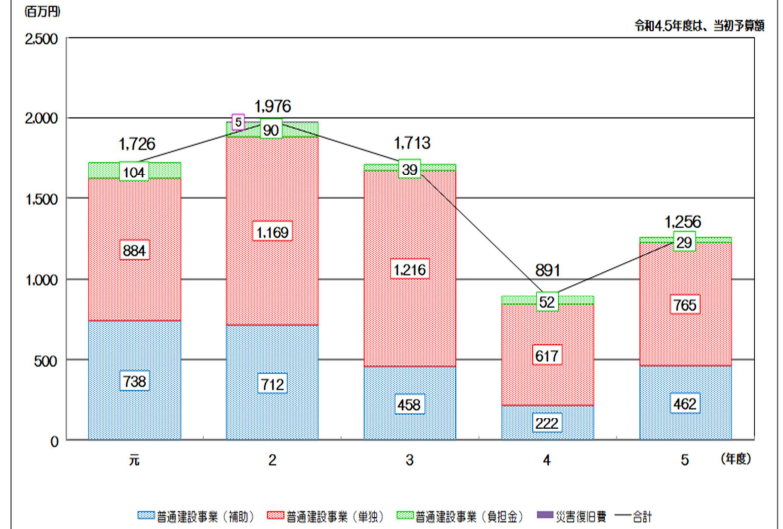
また、国県道改良事業負担金も国の補正により令和4年度3月補正に一部前倒しとなるため減額となった。

投資的経費全体では、前年度比3億6千5百万円増額の12億5千6百万円となった。

※国の補正により、令和4年度3月補正に前倒し計上した普通建設事業

- ・ 県営事業負担金 9,600 千円
- ・ 国県道改良事業負担金 5,000 千円
- ・ 道路（補助）事業費 88,578 千円
- ・ 公園（補助）事業費 189,000 千円

投資的経費決算の推移



● 主な事業・・・事業費30,000千円以上のもの

事業名	事業費	補助	市単
私立保育園等施設整備補助金	212,528 千円	補助	
道路（単独）事業費	100,253 千円		市単
長尾山総合公園（単独）事業費	96,648 千円		市単
企業振興助成金	90,482 千円		市単
道路（補助）事業費	72,701 千円	補助	
河川水路（単独）事業費	72,438 千円		市単
都市整備（補助）事業費	66,326 千円	補助	
中学校再編施設整備事業費	64,213 千円		市単
温泉センター管理費	54,422 千円		市単
住宅（補助）事業費	36,211 千円	補助	
環境整備事業費	34,704 千円		市単
公園（補助）事業費	30,000 千円	補助	

※事業費支弁人件費含む

ク. その他の経費

●物件費全体では、前年度比(△)9千6百万円減額の13億2千7百万円となった。

・需用費・・・燃料調整費高騰に加え、4月1日から電気料金が改定されることから、各公共施設の電気料金が増額となったため、全体では、前年度比6千6百万円増額の2億8千8百万円となった。

一般会計影響額 1億5百万円

※影響額の内訳

物件費影響額 6千6百万円 維持補修費影響額 9百万円

扶助費影響額 1百万円 特別会計繰出金影響額 6百万円

一部事務組合負担金影響額 2千3百万円

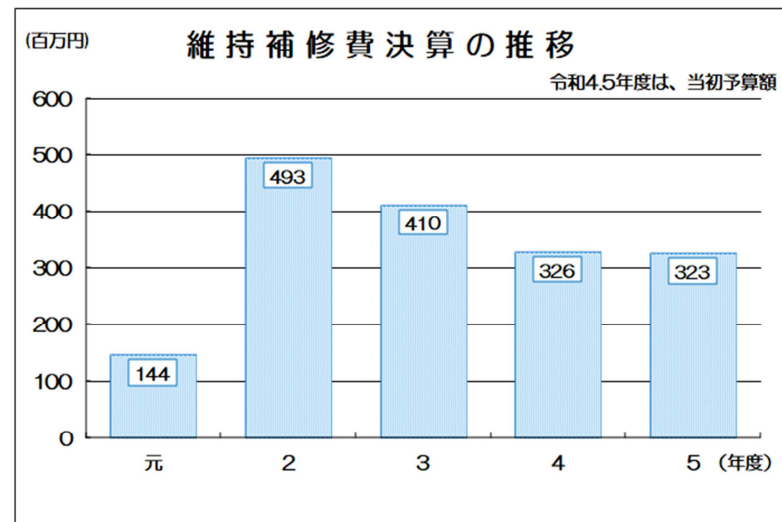
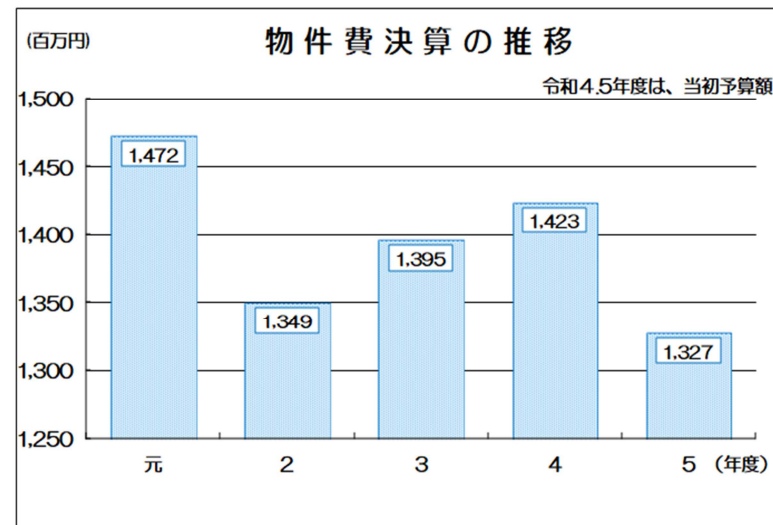
・委託料・・・給食調理員の人手不足及び物価高騰による小学校給食費保護者負担の増額を抑制

するため炊飯業務等を民間事業者へ委託、小学校プール授業を市営温水プールで実施、マイナンバーカード普及促進キャンペーン、県立恐竜博物館休館対策として実施する各種イベント、ふるさと納税増額に伴う中間事業者への業務委託などが増額となったが、令和4年度に実施した電子マネーポイント還元キャンペーン、恐竜ランドマーク設置、新型コロナウイルスワクチン接種、住民票等のコンビニ交付サービスの導入などが減額となったため、全体では、前年度比(△)1億6千4百万円減額の7億4千4百万円となった。

・備品購入費・・・小学校プール授業を市営温水プールで実施するために必要な備品、児童センターのエアコン更新、監査事務用タブレットなどが増額となったが、令和4年度に整備した小型除雪機購入費などが減額となり、全体では、前年度比(△)1千2百万円減額の3千5百万円となった。

●維持補修費全体では、前年度比(△)3百万円減額の3億2千3百万円となった。

市道の除雪委託料は、令和4年度当初予算に引き続き、平年ベースの除雪費相当額である2億円を当初予算から計上し、速やかに委託業者に支払える体制を整える。



ク. その他の経費のつづき

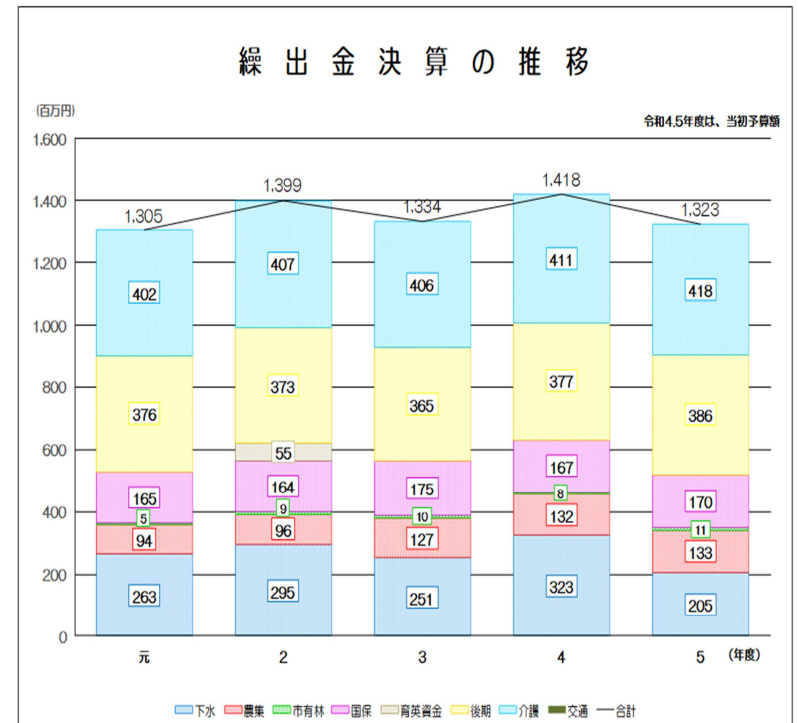
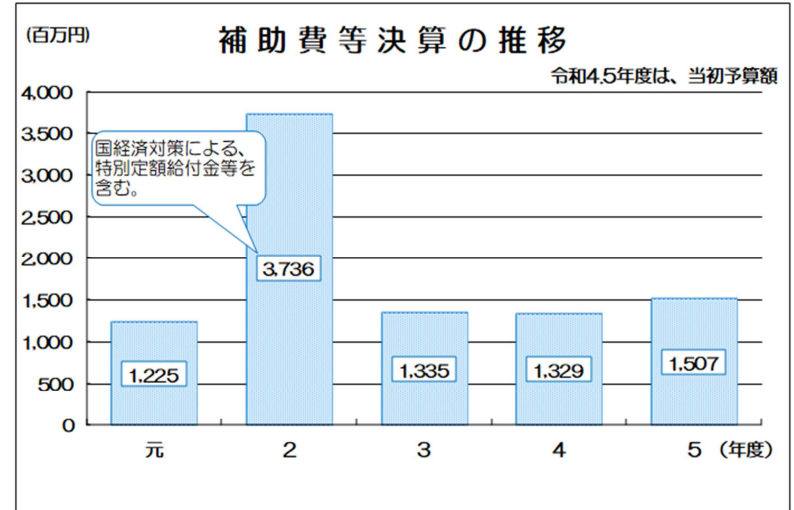
●補助費等全体では、前年度比1億7千8百万円増額の15億7百万円となった。

燃料調整費高騰に加え、4月1日から電気料金が改定されることを受け、緊急経済対策として、全世帯を対象に1人あたり毎月500円(国の負担軽減後の市民負担増相当額)総額1億3千1百万円の「電気料高騰対策支援交付金」を交付、森林の有する水源涵養機能が持続的に発揮されるよう地域の実情に応じ実施する林道等の減災対策・維持管理等を支援するため林道愛護組合等に対し総額1千万円の「豊かな森づくり推進事業交付金」を交付、物価高騰による中学校給食費の増額分を全額公費で負担する。

また、ふるさと納税増額に伴う返礼品、令和4年度実施し好評であった広報クーポン応援キャンペーンを拡充し実施、2年目を迎え全地区が取り組むにこにこ地域づくり事業交付金、県立恐竜博物館休館対策として実施する観光バスツアー造成事業、不妊治療の自己負担完全無料化、新たに带状疱疹予防接種費用に対し助成などが増額となった。

●繰出金全体では、前年度比(△)9千5百万円減額の13億2千3百万円となった。

- ・介護保険特別会計は、介護給付費繰出が増額となり、前年度比7百万円増額の4億1千8百万円となった。
- ・後期高齢者医療特別会計は、職員人件費繰出が減額となり、前年度比(△)1百万円減額の8千7百万円となった。
- ・後期高齢者医療広域連合負担金は、団塊の世代が被保険者となるため、医療費負担額が増額となり、前年度比10百万円増額の2億9千9百万円となった。
- ・国民健康保険特別会計は、保険税軽減世帯数の増加により財政安定化支援繰出が増額となり、前年度比3百万円増額の1億7千万円となった。
- ・市有林造成事業特別会計は、森林活用整備計画策定業務の増額などにより、前年度比3百万円増額の11百万円となった。
- ・農業集落排水事業特別会計は、使用料の納付方法の変更により令和5年度に限り14ヶ月分を受け入れることとなるが、電気料金、市債償還元金の増額などにより、前年度比1百万円増額の1億3千3百万円となった。
- ・下水道事業特別会計は、消費税、企業会計システム導入費などが減額及び使用料の納付方法の変更により令和5年度に限り14ヶ月分を受け入れることとなるため、前年度比(△)1億1千8百万円減額の2億5百万円となった。



4. 地方消費税交付金増収分の使途

○ 勝山市においての引き上げ分の地方消費税交付金額

令和5年度地方消費税交付金予算額・・・5億4千5百万円

内、引き上げ分(12/22※1相当額)・・・2億9千7百万円

消費税の引き上げ(5%→10%)による地方消費税交付金の増収分については、今後も増加が見込まれる社会保障4経費(制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための経費)に要する経費の一般財源の額の一部として充当。

※1 引き上げ前消費税 5%(うち、地方消費税1.0%)
 引き上げ後消費税 8%(うち、地方消費税1.7%)H26.4~
 消費税10%(うち、地方消費税2.2%)R1.10~

○ 充当先事業(性質:繰出金、扶助費)

(単位:千円)

経費区分	款	項	目	事業	事業費	特定財源	一般財源
医療	民生費	社会福祉費	後期高齢者医療費	後期高齢者医療広域連合負担金	298,822	0	298,822
	民生費	社会福祉費	後期高齢者医療費	後期高齢者医療特別会計繰出金	87,113	57,675	29,438
	衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費	国民健康保険特別会計繰出金	170,149	75,909	94,240
介護 他	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	生活困窮者自立支援事業費	90	67	23
	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	社会福祉総務諸経費	3	0	3
	民生費	社会福祉費	老人福祉費	老人福祉施設入所措置費	12,485	2919	9,566
	民生費	社会福祉費	老人福祉費	高齢者等の生活支援事業費	500	0	500
	民生費	社会福祉費	老人福祉費	低所得者利用者負担対策事業費	300	0	300
	民生費	社会福祉費	老人福祉費	住まい環境整備支援事業費	2,000	1,000	1,000
	民生費	社会福祉費	老人福祉費	介護保険特別会計繰出金	417,874	1,2052	405,822
	民生費	社会福祉費	障害福祉費	福祉サービス事業費	724,248	542,714	181,534
	民生費	社会福祉費	障害福祉費	補装具支給事業費	4,075	3,037	1,038
	民生費	社会福祉費	障害福祉費	特別障害者手当等給付事業費	4,239	3,161	1,078
	民生費	社会福祉費	障害福祉費	重度障害児(者)医療費助成事業費	110,000	55,000	55,000
	民生費	社会福祉費	障害福祉費	障害者施策諸経費	740	0	740
	民生費	社会福祉費	障害福祉費	自立支援医療等事業費	14,016	10,512	3,504
	民生費	社会福祉費	障害福祉費	地域生活支援事業費	10,605	6,600	4,005
	民生費	生活保護費	生活保護扶助費	生活保護扶助費	68,237	52,227	16,010
	民生費	生活保護費	生活保護扶助費	災害救助費	900	0	900
	子育て	民生費	児童福祉費	児童措置費	児童手当給付費	264,180	223,815
民生費		児童福祉費	児童措置費	児童扶養手当等給付費	47,441	15,813	31,628
民生費		児童福祉費	母子父子福祉費	母子父子家庭医療費支給費	7,908	3,953	3,955
民生費		児童福祉費	母子父子福祉費	母子父子家庭等支援事業費	2,458	1,431	1,027
民生費		児童福祉費	保育園費	公立保育園管理運営費	21,888	5,624	16,264
民生費		児童福祉費	保育園費	子ども・子育て給付費	790,250	579,343	210,907
民生費		児童福祉費	子育て支援費	子ども医療費支給費	69,000	26,918	42,082
民生費		児童福祉費	子育て支援費	子育て生活応援事業費	240	120	120
民生費		児童福祉費	子育て支援費	病児・病後児保育事業費	18,762	12,443	6,319
衛生費		保健衛生費	母子衛生費	母子保健事業費	13,200	10,640	2,560
教育費		小学校費	教育振興費	小学校就学援助・奨励費	6,703	798	5,905
教育費		中学校費	教育振興費	中学校就学援助・奨励費	4,916	667	4,249
教育費	幼稚園費	幼稚園費	幼稚園管理運営費	739	434	305	
合 計					3,174,081	1,704,872	1,469,209

上記の充当事業に要する経費の一般財源 約14億6千9百万円の一部に充当

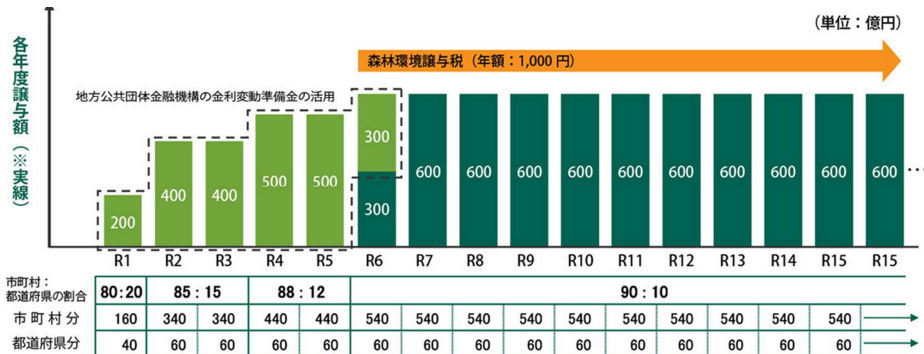
5. 森林環境譲与税の使途

○ 勝山市における森林環境譲与税額

令和元年度決算額 …… 9,891千円
 令和2年度決算額 …… 21,020千円
 令和3年度決算額 …… 21,039千円
 令和4年度決算見込み …… 27,201千円(当初予算同額)
令和5年度当初予算 …… 27,201千円(前年度同額)
 令和6年度以降見込み額 …… 33,000千円程度

地方全体の譲与額が、令和4年度と令和5年度は500億円と同額であることから令和4年度決算見込みと同額を見込んだ。

令和6年度以降は600億円が譲与される見込みとなっている。



○ 充当先事業

(単位:千円)

款	項	目	事業	事業費	特定財源	一般財源
農林水産費	林業費	林業振興費	鳥獣害対策事業費	7,782	1,968	5,814
農林水産費	林業費	林業振興費	森林経営管理事業費	2,500	0	2,500
農林水産費	林業費	林業振興費	森林整備地域活動支援事業費	3,550	2,637	913
農林水産費	林業費	林業振興費	林業振興諸経費	24,235	140	24,095
農林水産費	林業費	林道費	林道(県単)事業費	8,733	4,950	3,783
農林水産費	林業費	林道費	林道(単独)事業費	614	0	614
農林水産費	林業費	林道施設費	東山いこいの森管理費	1,292	919	373
農林水産費	林業費	林道施設費	森林公園維持管理費	337	0	337
農林水産費	林業費	林道維持費	林道維持管理費	3,154	0	3,154
農林水産費	林業費	治山費	小規模荒廃地治山事業費	7,192	3,500	3,692
土木費	都市計画費	公園管理費	公園維持補修費	8,470	3,059	5,411
合 計				67,859	17,173	50,686

※特定財源は市債除く
 上記の充当事業に要する経費の一般財源 約5千1百万円の一部に充当

6. 当初予算の概要 資料編

会計別予算規模

区 分	令和5年度 (千円)	令和4年度 (千円)	比 較 (千円)	増減比率 (%)
1 一 般 会 計	11,900,000	11,928,000	△ 28,000	△ 0.2
2 特 別 会 計	6,934,846	6,892,172	42,674	0.6
(1) 育 英 資 金 会 計	28,179	44,681	△ 16,502	△ 36.9
(2) 下 水 道 事 業 会 計	977,538	966,926	10,612	1.1
(3) 農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	187,379	180,843	6,536	3.6
(4) 国 民 健 康 保 険 会 計	2,462,864	2,458,818	4,046	0.2
(5) 後 期 高 齢 者 医 療 会 計	392,926	389,117	3,809	1.0
(6) 介 護 保 険 会 計 保 険 事 業 勘 定	2,827,865	2,781,103	46,762	1.7
介 護 保 険 会 計 介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定	9,000	9,500	△ 500	△ 5.3
(7) 市 有 林 造 成 事 業 会 計	49,095	61,184	△ 12,089	△ 19.8
3 企 業 会 計	909,509	915,103	△ 5,594	△ 0.6
(1) 水 道 事 業 会 計	909,509	915,103	△ 5,594	△ 0.6
合 計	19,744,355	19,735,275	9,080	0.0

一般会計歳入予算総括表

区 分	令和5年度		令和4年度		比較 (千円)	増減比率 (%)
	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)		
1款 市 税	2,753,362	23.1	2,681,058	22.5	72,304	2.7
2款 地 方 譲 与 税	162,201	1.4	166,201	1.4	△ 4,000	△ 2.4
3款 利 子 割 交 付 金	2,500	0.0	2,500	0.0	0	-
4款 配 当 割 交 付 金	18,000	0.2	12,500	0.1	5,500	44.0
5款 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	17,000	0.1	10,000	0.1	7,000	70.0
6款 法 人 事 業 税 交 付 金	58,500	0.5	37,000	0.3	21,500	58.1
7款 地 方 消 費 税 交 付 金	545,000	4.6	516,000	4.3	29,000	5.6
8款 環 境 性 能 割 交 付 金	14,000	0.1	18,000	0.1	△ 4,000	△ 22.2
9款 地 方 特 例 交 付 金	18,400	0.2	12,000	0.1	6,400	53.3
10款 地 方 交 付 税	4,180,000	35.1	4,250,000	35.6	△ 70,000	△ 1.6
11款 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	2,398	0.0	2,454	0.0	△ 56	△ 2.3
12款 分 担 金 及 び 負 担 金	12,020	0.1	13,548	0.1	△ 1,528	△ 11.3
13款 使 用 料 及 び 手 数 料	119,279	1.0	126,330	1.1	△ 7,051	△ 5.6
14款 国 庫 支 出 金	1,467,255	12.3	1,448,847	12.1	18,408	1.3
15款 県 支 出 金	1,097,502	9.2	1,180,259	9.9	△ 82,757	△ 7.0
16款 財 産 収 入	6,054	0.1	91,504	0.8	△ 85,450	△ 93.4
17款 寄 附 金	158,270	1.3	103,664	0.9	54,606	52.7
18款 繰 入 金	294,918	2.5	260,555	2.2	34,363	13.2
19款 繰 越 金	10,000	0.1	10,000	0.1	0	-
20款 諸 収 入	496,941	4.2	525,680	4.4	△ 28,739	△ 5.5
21款 市 債	466,400	3.9	459,900	3.9	6,500	1.4
合 計	11,900,000	100.0	11,928,000	100.0	△ 28,000	△ 0.2

一般会計歳出予算総括表

区 分	令和5年度		令和4年度		比較 (千円)	増減比率 (%)
	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)		
1款 議 会 費	154,607	1.3	159,530	1.3	△ 4,923	△ 3.1
2款 総 務 費	1,683,157	14.1	1,743,592	14.6	△ 60,435	△ 3.5
3款 民 生 費	3,778,940	31.8	3,669,269	30.8	109,671	3.0
4款 衛 生 費	922,939	7.8	912,622	7.6	10,317	1.1
5款 労 働 費	104,839	0.9	104,909	0.9	△ 70	△ 0.1
6款 農 林 水 産 業 費	642,785	5.4	694,462	5.8	△ 51,677	△ 7.4
7款 商 工 費	708,366	5.9	774,222	6.5	△ 65,856	△ 8.5
8款 土 木 費	1,249,870	10.5	1,237,256	10.4	12,614	1.0
9款 消 防 費	342,514	2.9	317,785	2.7	24,729	7.8
10款 教 育 費	1,062,391	8.9	990,103	8.3	72,288	7.3
12款 公 債 費	1,199,592	10.1	1,274,250	10.7	△ 74,658	△ 5.9
14款 予 備 費	50,000	0.4	50,000	0.4	0	-
合 計	11,900,000	100.0	11,928,000	100.0	△ 28,000	△ 0.2

一般会計歳出性質別内訳

区 分	令和5年度		令和4年度		比較 (千円)	増減比率
	予算額 (千円)	構成比	予算額 (千円)	構成比		
1 義務的経費	5,762,588	48.4%	5,811,732	48.7%	△ 49,144	△0.8%
(1) 人件費	2,348,444	19.7%	2,365,494	19.8%	△ 17,050	△0.7%
(2) 扶助費	2,214,683	18.6%	2,239,289	18.8%	△ 24,606	△1.1%
(3) 公債費	1,199,461	10.1%	1,206,949	10.1%	△ 7,488	△0.6%
2 投資的経費	1,255,837	10.6%	891,250	7.5%	364,587	40.9%
(1) 普通建設事業	1,255,837	10.6%	891,250	7.5%	364,587	40.9%
補助事業費	461,842	3.9%	222,064	1.9%	239,778	108.0%
単独事業費	764,995	6.4%	616,726	5.2%	148,269	24.0%
県営事業負担金	29,000	0.3%	52,460	0.4%	△ 23,460	△44.7%
(2) 災害復旧費	-	-	-	-	-	-
3 その他の経費	4,881,575	41.0%	5,225,018	43.8%	△ 343,443	△6.6%
(1) 物件費	1,327,488	11.2%	1,423,221	11.9%	△ 95,733	△6.7%
(2) 維持補修費	323,098	2.7%	326,250	2.7%	△ 3,152	△1.0%
(3) 補助費等	1,507,201	12.7%	1,329,443	11.2%	177,758	13.4%
(4) 積立金	5,408	0.0%	324,930	2.7%	△ 319,522	△98.3%
(5) 出資金	-	-	7,800	0.1%	△ 7,800	皆減
(6) 貸付金	395,000	3.3%	395,000	3.3%	-	-
(7) 繰出金	1,323,380	11.1%	1,418,374	11.9%	△ 94,994	△6.7%
合 計	11,900,000	100.0%	11,928,000	100.0%	△ 28,000	△0.2%



勝山市の防災対策施策

新・・・新規事業 拡・・・拡充事業

自助・共助体制整備

【拡】自主防災組織補助金【3,490千円】

自主防災組織の設立、活動及び備品整備について助成。令和5年度より、各組織1回限りであった備品整備助成を5年ごとに再度助成が受けられるように制度を拡充する。

【新】防災士養成事業補助金【240千円】

防災活動等の指導的な役割を担う人材を養成し、地域防災力の向上を図るため、防災士の資格取得に必要となる経費を全額助成する。

地域防災組織連絡会の開催【94千円】

自主防災組織、各地区、防災士等からなる地域防災組織連絡会を開催する。

避難行動要支援者名簿の整備【1,300千円】

災害時に自力で避難することに支障が生ずるおそれのある方を区長を通じて避難行動要支援者名簿へ登録し、区長、町内会長、班長、民生委員、自主防災組織等と情報共有を行う。

災害ボランティアセンター活動支援【85千円】

災害ボランティアセンターの設置に備えるため、社会福祉協議会や県防災士会等で構成する連絡会を支援する。

地域ぐるみ屋根雪下ろし【2,030千円】

高齢等のため自力で雪下ろしが困難な方と作業者をマッチングし、地域一体となった屋根雪下ろしの体制を整備する。

除雪活動費助成金【520千円】

各地区及び2戸以上の地域コミュニティ等が冬期間の生活道路等の安全な通行の確保のため実施する除雪活動を支援する。

木造住宅の耐震化を促進【1,960千円】

地震による倒壊等の被害から生命、財産を保護するため、旧耐震木造住宅の耐震診断、補強プランの作成及び改修工事に要する経費の一部を助成する。

克雪住宅の推進【6,500千円】

屋根雪下ろしの負担を軽減し、安全で安心して暮らせる住環境整備促進のため、住宅の屋根融雪の設置等に要する経費の一部を助成する。

その他

【新】田んぼダム利活用促進事業（片瀬地区）【3,555千円】

水田に雨水を一時的に貯留できる機能を組み入れ、排水路や河川等への配水制限を行うことで、大雨災害時の防災力強化を図る。

【新】農村地域防災減災事業（妙金島地区）【3,000千円】

農村の災害防止と農業用水の安定供給を図るため、用排水路の改修等を行う。

急傾斜地崩壊対策事業（昭和町3丁目地区）【28,400千円】※3 補含む

斜面の風化が進んでおり、豪雨時にがけ崩れが発生する恐れがあるため、急傾斜地崩壊対策工事を実施する。

公助体制整備

【新】地域防災マネージャーの配置【4,775千円】

防災・危機管理に関する専門的知識・経験を有する地域防災マネージャーを配置する。

【新】災害対応備品の購入【996千円】

浸水災害に備えるため、土のうに代わる止水パネルを導入する。

【新】まちづくり会館職員の防災士資格取得【200千円】

まちづくり会館の地域における防災拠点としての機能向上を図るため、まちづくり会館全職員が防災士の資格取得を行う。

【新】タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議へ加入【131千円】

タイムライン防災を地域に広め、災害から命を守る防災意識社会の構築を目指すため、市町村、防災関係機関、有識者等と連携協働を行う。

【新】集中管理車の入替【1,514千円】

災害時等に土のう運搬等を行うため、軽トラックへ更新を行う。

貸出用小型除雪機の配備【165千円】

市民が主体となった克雪活動を支援するため、貸出用小型除雪機40台を配備する。

【拡】消防団の充実・強化【920千円】

消防団員の火災、水害等にかかる「出動報酬」について、処遇改善を行う。

情報伝達の充実

【拡】緊急時一斉メール配信システム【1,433千円】

市内在住外国人向けに6か国語に自動翻訳して配信、Yahoo!防災アプリをインストールしているスマホにPUSH式で配信、事前に登録された電話番号にSMS配信できる機能を加える。

市公式LINE【1,980千円】

市公式LINEお友達登録者へ防災関連情報や、各種お知らせを行う。

同報系防災無線【6,665千円】

市内各地に配備された同報系防災無線（64局）により防災情報を配信する。

ボイスリーチ【67千円】

災害発生時に予め登録された固定電話に防災情報を配信する。

ライブカメラ【2,911千円】

市内各地に設置した路面・河川監視カメラの映像を、市ホームページにてライブ配信する。

【新】豊かな森づくり推進事業【10,000千円】

地域の実情に応じ実施する林道等の減災対策・維持管理等を支援するため、林道愛護組合等に対し「豊かな森づくり推進事業交付金」を交付する。

重要給水施設への配水管耐震化工事【156,981千円】

災害時でもライフラインである上水道を安定的に供給するため、重要給水施設までの配水管を耐震管に布設替える。

下水道雨水排水路整備事業【3,234千円】

三谷川流域において、河川改修、調整池の設置、バイパス水路等の整備を実施し、市民の安全・安心な生活を確保する。

2023 勝山市の移住・定住支援施策

拡充事業

住む

④ U・Iターン移住就職支援金【600千円】

県主催の就職サイトに掲載されている企業に就職、もしくは県内で創業するため、東京23区に在住または通勤していた方が市内に移住した場合、補助金を交付

● 単身：60万円、世帯：100万円（いずれも1回限り）

※ 子供1人につき100万円を加算

ふるさと回帰U・Iターン奨励金【640千円】

市内にU・Iターンした方に奨励金を交付

● 単身：3万円、世帯：5万円（いずれも1回限り）

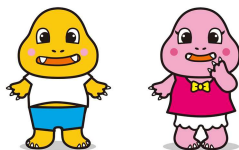
※ 市内において就職した場合、5万円を加算

ふるさと回帰U・Iターン就職等奨励金【1,100千円】

県外から市内にU・Iターンし、就職もしくは創業した方に奨励金を交付

● 単身：6万円、世帯：10万円（いずれも1回限り）

※ 市内において就職した場合、5万円を加算



④ 定住化促進事業補助金【23,100千円】

40歳以下の方、または勝山市に移住した方が定住するために住宅を取得した場合（新築もしくは中古住宅取得）に経費の一部を補助

また、既存住宅を多世帯同居のためにリフォームした場合や中古住宅を賃貸用にリフォームした場合に経費の一部を補助

● 新築（市内業者に限る）：最高100万円

● 中古住宅取得：最高100万円（リフォーム加算（最高100万円）有り）

● 多世帯同居リフォーム：最高90万円（市内業者に限る）

● 中古住宅を賃貸用にするためのリフォーム：最高90万円（市内業者に限る）

暮らす

育英資金奨学金返還減免制度

返還を開始して4年（医師は6年）以内に市内に住所を有し、就業した方の奨学金返還額を完納まで（毎年申請）減免

● 当該年度の返還額の4分の1（※）

※ 市内の医療機関に看護師・准看護師として、市内の介護サービス事業所に介護サービス従事者として、市内の障害福祉サービス事業所に障害福祉サービス等従事者として就職した方：2分の1

※ 市内医療機関に医師として就職した方：全額

※ 諸条件あり

移住者交流会【30千円】

安心して住み続けていただけるよう定期的な情報交換の場を提供

市広報で移住特集

市広報で移住者のインタビュー記事や移住に関する情報を掲載

その他

勝山づくり人創造推進事業【6,266千円】

様々なスキルを持ち、県外・市外で活躍する人材（主に個人事業主）を関係人口として市民団体等が招聘し、市民との協働活動を進めていく。これにより、市との深い関係を構築する中で、関係人口が市内の魅力に気づき、最終的には市内での起業や市内就職という形によって定住人口となる流れを創出する。

- (1) 外部人材を招聘した市民向けワークショップやまちづくり活動の実施
- (2) 一定のスキルを有したダブルワーク希望者と市内企業のマッチング
- (3) 関係人口の受入に備えた市民向けのスキルアップ研修の実施
- (4) 移住マッチングサイト等を活用した全国向けの取組情報の発信 等

結婚支援事業 男女交流イベント【1,166千円】

結婚相談や男女の交流イベントを開催。

交流イベントに向け、男女の魅力を高めるコーディネーター講習会を実施するとともに、結婚を希望する方の親を対象としたセミナーを開催。ふくい婚活サポートセンターとの連携を図り、若者の成婚を応援。



2023 勝山市の子育て支援

新...新規事業
拡...拡充事業

子育て世代包括支援センター【2,027千円】

妊娠期から子育て期における相談の窓口、各種教室の開催

子育て相談室【512千円】

子育て支援事業等の利用者支援、情報提供および相談の窓口

不妊治療への助成【5,000千円】

年度内に受けた不妊治療費の自己負担額を助成（年齢・回数制限なし）

出産・子育て応援金の交付【14,110千円】

妊娠届出をした妊婦に5万円、出生した児を養育する者に5万円を交付。
妊娠時面談、妊娠中の相談、出生時面談等の伴走型支援を合わせて実施。

低所得妊婦初回受診料助成【10千円】

生活困窮等により妊娠の確認のための受診ができない方を対象に初回受診料を助成

にこにこ妊婦奨励金【6,600千円】

福井勝山総合病院で妊婦健診を初回から受診し、出産支援連携体制により
県内の病院で出産する場合に奨励金10万円を交付

妊婦健診受診料無料【10,882千円】

基本的な妊婦健診（14回）と妊娠中に受けるべき検査が無料

産婦健診受診料無料【104千円】

福井勝山総合病院で受診する産婦健診（産後2週間・1カ月）が無料

妊産婦医療費無料【3,000千円】

妊娠届出時から出産した月の翌月の末日までに受けた医療費を助成

妊産婦にバス無料乗車券を交付【100千円】

妊産婦を対象にコミュニティバス等の無料乗車券を交付

産後ケア（母乳相談、ショートステイ、訪問ケア）【355千円】

出産後の母子に自身のケア、授乳に関する相談等を目的に産後ケアを実施
すくすく育成奨励金【5,000千円】

第3子以降の出生時に奨励金20万円を一括交付

新生児訪問・乳児家庭全戸訪問【479千円】

保健師訪問の他、保健推進員による子育て家庭への声かけ活動を実施

新生児聴覚スクリーニング検査・乳児健診受診料無料【2,673千円】

1か月児健診、4か月児健診、9～10か月児健診が無料

1歳6か月児健診・3歳児健診の実施【907千円】

医師・歯科医師・保健師・管理栄養士等による発達確認・育児相談を実施

5歳児就学前相談会の実施【133千円】

年中児を対象に子どもの発達・学習に関する相談会を実施

子育てに関する教室・相談の実施【991千円】

保健師・管理栄養士による乳幼児の発達・栄養等に関する教室や相談の
実施

のびのび相談会【119千円】・ことば育ちの教室【528千円】

小児発達専門医・言語聴覚士・心理職による相談会、臨床心理士の教室を
開催

カンガルーのお部屋（子育て支援センター）【2,841千円】

子育てに関する悩みや相談など、お子さんと保護者が集う場を提供
土曜日にパパ育講座を実施、父親の子育て参加を支援

教育・保育等

20 保育園、認定こども園を利用する方への支援

休日保育、延長保育、障がい児保育、医療的ケア児保育等を実施

保育料の軽減（0歳～2歳児）

第3子以降、または年収が360万円未満相当世帯の第2子は無料

2人以上同時入園の場合、2人目は半額

住民税非課税世帯および年収約360万円未満相当世帯等の軽減

令和4年9月から、年収640万円未満相当世帯の第2子を無料

副食費の免除（3歳～5歳児）

世帯の第3子以降、または年収が360万円未満相当世帯を無料

私立認定こども園・保育園への支援

保育環境向上等事業【8,232千円】老朽化した備品など設備の購入・更新を支援

熱中症対策・安全対策【3,087千円】冷房設備等や睡眠中の事故防止機器の導入を支援

低年齢児保育充実促進【2,957千円】0～2歳児の保育の充実を図る要件を緩和

園舎施設整備への支援【212,528千円】園舎の改築、改修に係る経費を支援

新型コロナウイルス感染症対策支援【4,500千円】感染対策に係る経費を支援

わくわくイングリッシュチャレンジ【7,582千円】幼少期から英語に親しむ機会を創出

学童期の支援

児童センター利用料無料【103,000千円】

小学1年生から6年生までの利用を希望する全ての児童の利用料が無料

土曜日や長期休暇中は、希望に応じて、7時30分からの利用が可能

障がい児放課後支援【29,863千円】

放課後や長期休暇中の奥越特別支援学校内の通所事業所の利用料が無料

多子世帯への支援

これまでの無償化支援について、令和4年9月より

第3子以降から第2子以降、および多胎児の第1子に拡充

一時預かり【33,710千円】未入園児を保育園等で一時的に預かる保育を実施（8園）

病児・病後児保育【18,818千円】ひかり病児保育園で実施、ひとり親家庭は無料

子育て生活応援隊【250千円】支援が必要な家庭での児童の家事や保育等を実施

ひとり親家庭への支援

高等職業訓練促進給付金【1,250千円】ひとり親家庭の資格取得に係る修業期間の生活費支援

自立支援教育訓練給付金【200千円】ひとり親家庭の教育訓練経費の一部を助成

小・中学校及び高等学校入学激励【170千円】児童・生徒の入学時に激励品等を贈呈

高校通学定期代助成【688千円】高校生の通学定期代の一部を助成

子ども医療費窓口無料【71,064千円】

満18歳に達する日以後、最初の3月31日までの子どもの医療費の窓口払いが無料

家庭育児応援手当【240千円】

満3歳未満の第2子以降の児童を保育園等を利用せず、家庭で育児している年収360万円

未満相当世帯で育児休業給付金を受給していない場合に助成（月額1万円）

インフルエンザ予防接種費用助成【2,287千円】

小学生までは年2回、中学生は年1回まで、接種ごとに1,000円を助成

定期予防接種等の費用無料【37,982千円】

定期予防接種、及びロタウイルス予防接種の費用無料

20 児童の相談・居場所強化【1,404千円】

児童等に家庭・学校等以外の社会性をはぐくむ場所を提供し、健やかな発達を支援

その他の支援

妊娠・出産期の支援

乳幼児期の支援

1. 新規企業の誘致及び地元企業の工場増設等の支援を図ります。

●企業振興助成金

助成金名	交付要件		補助金・奨励金の額	限度額	
	助成対象経費	対象業種			投下固定資産総額
1.企業立地助成金	工場等建設に伴う投下固定資産の合計額	別表第1に定める業種	5,000万円以上	土地、建物（空き工場含む。）の取得については、助成対象経費の20%以内 土地の造成費、償却資産の取得費、空き工場の改修費等については、助成対象経費の10%以内	1億円
工場等建設に伴う投下固定資産の合計額					
2.雇用促進助成金	企業立地助成金に該当する企業		工場等の建設に伴い従業員が純増した場合、又は、既存工場等から転属し市内に移住した場合、従業員一人につき50万円	5,000万円	

別表第1

大分類	中分類	小分類	備考
製造業			
情報通信業	通信業	固定電気通信業	※1
	情報サービス業		
	インターネット附随サービス業		
運輸業、郵便業	道路貨物運送業		※2
	倉庫業		
	運輸に附帯するサービス業	貨物運送取扱業	
卸売業、小売業	無店舗小売業		※2 又は ※3
不動産業、物品賃貸業	不動産賃貸業・管理業	不動産賃借業	※4
学術研究、専門・技術サービス業	学術・開発研究機関		
生活関連サービス業、娯楽業	娯楽業		※3
その他	勝山市の観光振興に寄与する業種		

備考

左記分類の区分は統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類に基づくものとする。(その他を除く。)

※1 データセンター等のサーバーやネットワーク機器を設置・運用する専用の建物であること。

※2 物流施設を設置するものであって本市を除く複数の市町村に対して本市内への発送量を上回る貨物の発送を行っていること。

※3 勝山市の観光振興に寄与すると認めるもの。

※4 コワーキングスペース、シェアオフィス等の様々な属性の労働者及び学生が、机、椅子、ネットワーク設備、会議室等の実務に必要な環境を共有しながら、仕事又は交流等を行うことができるもの。

2. 特色あるものづくりを支援し、魅力ある地域の産業の活性化を図ります。

●お土産物開発支援事業補助金・・・勝山オリジナルの新たなお土産物の開発、既存商品のブラッシュアップ等に要する経費に対し補助金を交付します。

事業名	助成対象	補助金の額及び限度額
おもてなし商品開発等支援事業	「おもてなし」の心で観光の産業化に取り組む市内に住所を有する事業者及び団体が、新たな土産物・既存商品の開発、ブラッシュアップ、販路開拓に要する費用。開発に当たり、外部専門家等の指導を受ける場合の費用。	○商品開発・販路開拓 限度額 50万円 (補助対象経費の2/3以内) ○外部専門家派遣 限度額 10万円

3. 市内店舗の売上向上や集客促進を目指した事業を支援し、市内での消費拡大・地域経済の活性化を図ります。

●おもてなし宿泊施設活性化促進事業補助金・・・市内宿泊施設が各店舗の強みを活かし魅力を向上させる改修に対し補助金を交付します。

補助対象者	助成対象	補助金の額及び限度額
・市内で住所登録がある宿泊業を営む法人または個人 ・勝山市が指定する専門家及び勝山商工会議所の指導助言に基づく観光客への「おもてなし」の計画を策定した事業者	各宿泊施設の「おもてなし」の計画に基づいた宿泊施設の店舗部分における新築、増築、改築、改修又は模様替えの設計費及び工事費であり、かつ100万円以上の事業。	補助対象経費の2/3以内 限度額 300万円

4. 新規出店者・新分野での出店者を支援し、市内での出店促進を図ります。

●商業施設出店促進事業補助金・・・空き店舗、空地等を活用して新規に出店する事業者に対し補助金を交付します。

補助対象者	補助対象経費	補助対象地域	補助金の額及び限度額他
・市内の空き店舗等を活用し新規に商業施設を出店しようとする者 ・新分野に進出し、新規に商業施設を営業しようとする者 ※商業施設…物品の販売、飲食又はサービスの提供等を行い、かつ、不特定多数の市民が利用することができる施設。	出店に係る店舗改修費	市内全域 景観形成地区では、外観整備をする場合は、景観創出事業を必ず併用すること	○補助対象経費の1/2以内 限度額 100万円 ※都市機能誘導地域への出店、または観光の産業化に資する商業施設については加算あり ※女性、または申請時に39歳未満の場合は限度額が120万円になります。

※上記店舗改修費補助の他、土地、建物の賃借料についても補助があります。(補助対象経費の1/2 限度額月額5万円(女性・39歳未満は6万円)、36か月間)

※勝山商工会議所が主催する創業塾等を受講し、商工会議所の推薦を受けた者を補助の対象とします。

※市外からの移住者に限り、市外で店舗を営業していても補助対象とします。

5. 恐竜をテーマとした店舗改修を支援し、恐竜博物館のリニューアルに向けて機運を高めます。

●恐竜店舗改修支援事業補助金・・・既存店舗等の恐竜をテーマとした全面的な改修を行う事業者に対し補助金を交付します。

補助対象者	補助対象経費	補助金の額及び限度額
観光の産業化に資する既存商業施設の改修を行う市内を営業拠点とする個人又は市内に事業者がある法人	(1) 恐竜をモチーフとした改修又は模様替の工事費 (2) 恐竜モニュメントの制作費、購入費及び設置費 (3) 恐竜の意匠が施された備品(調度品)の制作費、購入費及び設置費 (4) 恐竜のフィギュアや従業員の恐竜仕様の制服等の用品費	※(1)は必ず実施し、(2)~(4)については、いずれか2つ以上を実施すること。 補助対象経費の1/2以内 限度額 300万円

6. 自社のイメージアップと労働力確保に繋がる効果が期待できる行動計画策定の経費を補助します。

●一般事業主行動計画策定支援事業補助金・・・一般事業主行動計画策定のための社労士等に係る経費の一部を補助します。

補助対象者	補助対象経費	補助金の額及び限度額他
・市内に本店または支店のある事業所	社労士等に係る経費	補助対象経費の1/2以内 限度額 2万円

福井県立恐竜博物館の休館に伴い、経済的な影響を受けている事業者への支援を行い、地域経済の活性化を図ります。

予算総額 32,793 千円

1 かつやま恐竜の森わいわいワールド 開催事業

予算額 8,300 千円

福井市内で県が開催する恐竜特別展に合わせ、かつやま恐竜の森で子どもや親子向けイベントを開催し、市内誘客を図る。

実施期間 4/29～5/7、5/13、5/14
(11 日間)

事業内容 ドリフトカート、恐竜トレインなど 10 種類の有料アトラクションの設置

2 観光バスツアー造成事業

予算額 4,250 千円

市内への宿泊を伴う観光バスツアーを催行する旅行者に対して、4 月～6 月末までの期間、補助金を交付することにより市内宿泊施設の利用を促す。

対象者 旅行業の登録を受けた全国の旅行者
補助額 ツアー参加者 1 人につき 1,500 円
市内観光施設等で体験メニューを利用した場合は 1 人あたり 200 円を加算
要件等 参加者が 10 人以上のツアー
市内宿泊施設で 1 泊以上の宿泊 など

3 勝山ドキドキスタンプラリー事業

予算額 2,388 千円

県が開催する恐竜特別展会場と市内観光施設を巡るスタンプラリーを実施することにより、市内への誘客及び周遊を図る。

実施期間 4/21～5/14
設置箇所 5 箇所（県イベント会場+市内 4 観光施設）
事業内容 完成させる楽しみを持つ重ね捺し方式のスタンプラリーとし、完成した応募者の中から抽選で景品を贈呈する。

4 鯉のぼり Again 事業

予算額 1,860 千円

勝山市の春の風物詩であった弁天鯉のぼりの復活事業を行う。また、地域おこし協力隊との連携イベントも同時に開催し、休館期間中の見所として PR する。

掲揚期間 3 月下旬～5 月下旬
掲揚数 100 匹
連携事業 桜まつり（地元区）
マルシェ（鯉のぼりコラボ商品などの企画販売）
ファッションショー（鯉のぼりのアップサイクル）

5 勝山わくわくイベント PR 事業

予算額 1,400 千円

休館対策関連イベント等を一体的に PR することにより宣伝効果を高め、期間中の市内への誘客を図る。

実施期間 3 月～6 月末
対象事業 休館期間中に実施される各種イベント
事業内容 SNS 及びインターネットメディア等において定期的な投稿及び有効なターゲットに対する効率的な広告を配信する。

6 広報クーポン応援キャンペーン事業

予算額 14,595 千円

休館期間中に配布する広報クーポンを増額することにより、市民の消費喚起を促し、市内事業者を支援する。

実施期間 年 4 回
(4 月、6 月、11 月、2 月)
実施内容 休館期間中に発行するクーポンについては、500 円クーポンを 4 枚に増額して発行する。
その他 3 月補正計上の印刷費 301 千円を計上

式典等における市内音楽家とコラボした 新たな取り組み

市内で開催される式典・イベント・会議等と市内出身の音楽家（ピアノ、フルート、クラリネット、ハープ、チェロ奏者）の生演奏（BGM、ミニコンサート）をコラボすることにより式典等の雰囲気づくり、音楽とのふれあう場を創出する。

予算額（単位：千円）

⑧ 演奏者への謝礼 1,170

～主なコラボ企画～

- ・勝山市区長連合会総会（5月）
- ・パートナーシップ宣誓制度導入講演会（5月）
- ・福井県市町教育連絡協議会総会（5月）
- ・市民体育大会総合開会式（5月）
- ・福井県市長会副市長会議（8月）
- ・国道416号小松・勝山間整備促進期成同盟会総会（未定）
- ・勝山産業フェア（10月）
- ・福井県市町教育連絡協議会教育長研修会（未定）
- ・かつやま Waku Waku 文化フェスタ 2023（仮称）（10月）
（市総合文化祭、市表彰式、のぞみフェスタ）
- ・さわやか大学修了式（2月）
- ・20歳のつどい（3月）
- ・市民総合大学認定式（3月）



令和4年度3月補正予算（案）の概要

◎会計別予算規模

(単位：千円)

区 分	補 正 額	補正前予算額	補正後予算額計	備 考	
				前年同期 増減比率	(前年同期補正後予算額)
1 一 般 会 計	△ 257,133	15,488,194	15,231,061	△ 4.0	15,871,542
2 特 別 会 計	92,576	6,874,556	6,967,132	1.4	6,874,328
(1) 育 英 資 金 会 計	△ 2,794	44,681	41,887	△ 77.8	188,776
(2) 下 水 道 事 業 会 計	63,223	920,783	984,006	6.7	921,907
(3) 農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	△ 1,065	183,407	182,342	1.9	178,910
(4) 国 民 健 康 保 険 会 計	4,696	2,466,794	2,471,490	5.9	2,334,022
(5) 後 期 高 齢 者 医 療 会 計	△ 10,382	388,380	377,998	7.2	352,495
(6) 介 護 保 険 会 計 保 険 事 業 勘 定	40,115	2,800,849	2,840,964	0.0	2,840,059
介 護 保 険 会 計 介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定	0	9,500	9,500	11.8	8,500
(7) 市 有 林 造 成 事 業 会 計	△ 1,217	60,162	58,945	18.7	49,659
3 企 業 会 計	△ 32,996	1,005,892	972,896	19.9	811,425
(1) 水 道 事 業 会 計	△ 32,996	1,005,892	972,896	19.9	811,425
合 計	△ 197,553	23,368,642	23,171,089	△ 1.6	23,557,295

◎補正内容

(単位：千円)

○ 国の補正予算（第2号）による主な事業

事業内容	補正予算額
・ 県営事業負担金 (県が施工する中山間総合事業に伴う費用の一部を負担)	9,600
・ 国県道改良事業負担金 (県が施工する急傾斜地崩壊対策事業に伴う費用の一部を負担)	5,000
・ 道路（補助）事業費 (市道の改良工事や橋梁補修工事等を実施)	88,578
・ 都市計画総務諸経費 (立地適正化計画の改定を実施)	6,000
・ 公園（補助）事業費 (Park-PFIによる特定公園施設取得や長尾山公園の遊具更新を実施)	189,000
・ 小学校管理運営費 (新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品等を整備)	8,100
・ 中学校管理運営費 (新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品等を整備)	2,700

○ 主な事業

事業内容	補正予算額
・ 指定管理施設電気料金高騰対策支援交付金 (燃料価格高騰等による電気料金値上げの影響を受けている指定管理者の支援)	3,037